

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第4区分

【発行日】令和5年2月3日(2023.2.3)

【公開番号】特開2022-191489(P2022-191489A)

【公開日】令和4年12月27日(2022.12.27)

【年通号数】公開公報(特許)2022-239

【出願番号】特願2022-170865(P2022-170865)

【国際特許分類】

H02J 50/80(2016.01)

10

H02J 50/10(2016.01)

H02J 7/00(2006.01)

【F I】

H02J 50/80

H02J 50/10

H02J 7/00 301D

【手続補正書】

【提出日】令和5年1月26日(2023.1.26)

20

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

無線で電力を送電する送電装置であって、

近距離無線通信(Near Field Communication)を行うタグの検出を行う検出手段と、

前記タグの検出が実行されたかを示す情報と、前記タグの検出の結果を示す情報と含む信号を送信する送信手段と、を有することを特徴とする送電装置。 30

【請求項2】

前記信号は、無線電力伝送に関する交渉を行う交渉フェーズにおいて、送信されることを特徴とする請求項1に記載の送電装置。

【請求項3】

前記信号は、受電装置から、前記送電装置の能力情報の問い合わせに応じて送信されることを特徴とする請求項1又は2に記載の送電装置。

【請求項4】

無線で電力を送電する送電装置が行う通信方法であって、

近距離無線通信(Near Field Communication)を行うタグの検出を行い、 40

前記タグの検出が実行されたかを示す情報と、前記タグの検出の結果を示す情報と含む信号を送信することを特徴とする通信方法。

【請求項5】

前記信号は、無線電力伝送に関する交渉を行う交渉フェーズにおいて、送信されることを特徴とする請求項4に記載の通信方法。

【請求項6】

前記信号は、受電装置から、前記送電装置の能力情報の問い合わせに応じて送信されることを特徴とする請求項4又は5に記載の通信方法。

【請求項7】

50

コンピュータに、請求項4乃至6のいずれか1項に記載の通信方法を実行させるためのプログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本開示の一態様による送電装置は、以下の構成を有する。すなわち、

無線で電力を送電する送電装置であって、

10

近距離無線通信(Near Field Communication)を行うタグの検出を行う検出手段と、

前記タグの検出が実行されたかを示す情報と、前記タグの検出の結果を示す情報と含む信号を送信する送信手段と、を有する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0049

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0049】

20

NFC関連情報の問い合わせを受けた送電装置100の第三制御部301は、第四制御部309にNFCタグ検出を行ったかどうかとその検出の結果を問い合わせることにより状態確認を行う(S503、S504)。第三制御部301は、図4で説明した検出状態を示す情報を、第四制御部309から受け取り、この情報を含むパケットをNFC関連情報の問い合わせに対する応答として、第三通信部304を用いて受電装置102に送信する(S505)。

30

40

50